

## 8 学校園施設の充実

①施策の展開	教育環境の充実	課名	教育総務課 施設給食課
②取組概要	<p>学校園施設の耐震補強工事を推進し早期完成をめざすとともに、計画的に施設の改修を実施する。また、学校園の警備などの安全管理や施設設備に係る保守点検、修理、維持管理を行う。</p>		
③構成取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 施設耐震化推進事業</li> <li>(2) 屋内運動場改修事業</li> <li>(3) プール改修事業</li> <li>(4) <u>小学校校庭芝生化</u><sup>(16)</sup>事業</li> <li>(5) 小中学校・幼稚園施設管理事務</li> <li>(6) 旧明德小学校跡地関係事務</li> </ul>		

④取組計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 寝屋川市立学校園施設耐震化推進計画による小・中学校の校舎・屋内運動場の耐震補強工事を実施し、<u>耐震化率</u><sup>(17)</sup>を100パーセントとする。併せて屋内運動場の非構造部材の耐震化を実施する。また、幼稚園園舎棟の耐震診断及び耐震補強設計を実施する。</li> <li>(2) 清潔でより使いやすくするため計画的に屋内運動場トイレのリニューアルを進める。</li> <li>(3) 老朽化したプールの改修を計画的に実施する。</li> <li>(4) 各校芝生化実行委員会に対し、維持管理に要する経費の補助金の交付や機材の貸出し等の支援を行うとともに、地域、市民の芝生に関わる機会づくりの情報提供を行うなど、市民協働によって事業を推進する。</li> <li>(5) 学校の安全を確保するため、小学校には<u>学校安全監視員</u><sup>(18)</sup>を配置し、小学校、中学校、幼稚園において警備会社における機械警備業務を行い、学校安全の充実に努める。</li> </ul>		
-------	---	--	--

	(6) 公共施設等整備・再編計画に基づき、市長部局等と連携・調整を図り、事務を進める。
--	---

<b>⑤取組実績</b>	<p>(1) 国の平成 24 年度東日本大震災復興特別会計予備費分を活用し、小学校の校舎棟 5 校 6 棟、屋内運動場 14 校 14 棟、中学校の校舎棟 2 校 2 棟、屋内運動場 6 校 6 棟の耐震補強工事の前倒しを実施し、平成 25 年度末における耐震化率は 100% となった。</p> <p>&lt;小・中学校の耐震化率&gt;</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;"></th> <th style="width: 25%;">平成 23 年度</th> <th style="width: 25%;">平成 24 年度</th> <th style="width: 25%;">平成 25 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耐震化率</td> <td>70.3%</td> <td>84.9%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>併せて、小学校 14 校、中学校 6 校の屋内運動場非構造部材の耐震化を実施した。また、幼稚園園舎棟（中央・南・神田・啓明幼稚園）の耐震診断・耐震補強設計を実施した。</p> <p>(2) 耐震補強工事にあわせて、小学校 14 校、中学校 6 校の屋内運動場トイレのリニューアルを実施した。</p> <p>(3) 啓明小学校、第八中学校のプール改修を実施した。</p> <p>(4) 各校芝生化実行委員会に対し、維持管理に要する経費に補助金の交付や機材の貸出し等の支援を行った。また、全校の芝生を活用したヒートアイランド現象の緩和と緑化・打ち水等の効果や環境問題を考える機会として、市環境部や大阪府、摂南大学、地元自治会、学校、PTA、民間事業者等と協働し、「クールシティ寝屋川」を実施した。石津小学校をイベント会場とし、約 200 人が参加した。</p> <p>(5) 小学校において、平成 17 年度から実施していた有人警備委託に変わり、平成 23 年度から学校安全監視業務として、各小学校に学校安全監視員を 1 名常駐配備し、外部からの不審者等に対する安全監視、施設等の監視と児童・教職員の安全管理確保に努めた。また、小学校、中学校、幼稚園において機</p>		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	耐震化率	70.3%	84.9%	100%
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度						
耐震化率	70.3%	84.9%	100%						

	<p>械警備により施設の安全監視に努めた。</p> <p>(6) 公共施設の効果的な活用を図るため、市長部局と連携し、これまでの取り組みを踏まえ、新たな方針として、公共施設等整備・再編計画（改訂版）のもと、売却並びに効果的な活用について検討することとした。</p>
--	--

<p>⑥評価</p>	<p>(1) 耐震補強工事の前倒しを実施し、耐震化率が前年度 84.9% から 100%となり、当初の推進計画以上に耐震化を進め、安全性の確保が図れた。</p> <p>屋内運動場非構造部材の耐震化の実施により、災害時の避難場所としても安全性が確保できた。また、幼稚園園舎棟の耐震診断・耐震補強設計を実施し、次年度に耐震補強工事を行う準備を整えることができた。</p> <p>(2) 20校のトイレをリニューアルし、清潔でより使いやすくなった。引き続き非構造部材耐震化工事にあわせて、屋内運動場トイレのリニューアルを実施する。</p> <p>(3) 老朽化したプールを改修し、児童・生徒が快適で安心して学べる教育環境の保持・充実が図れた。</p> <p>(4) 各校芝生化実行委員会への補助金の交付や機材等の貸出し、イベントの実施によって、芝生を起点とした地域協働による学校支援や地域コミュニケーションの推進が図れた。</p> <p>引き続き、児童・保護者・地域住民が芝生に関わる機会づくりとして、地域による芝生を活用した取り組みを支援し、市民協働による事業の推進に努める。</p> <p>(5) 学校安全監視員の配置及び機械警備により、安全性の確保が図れた。今後も引き続き、学校、地域と連携を図り、手法等工夫する中、安全性を高めていく必要がある。</p> <p>(6) 「公共施設等整備・再編計画」に基づき取組を進めているが、同計画の改訂版が策定されたことや現状の進捗や課題な</p>
------------	--

	どを踏まえ、引き続き、市長部局と連携し、売却方法や規模を検討するとともに、市の施設や市民が利用できる施設等の活用について検討する必要がある。
--	--